



第24期 中間報告
2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日
株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり



代表取締役会長 (CEO)

古川 國久



代表取締役社長 (COO)

小川 宏隆

『成長』と『進化』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、長期目標として連結売上高1兆円を掲げております。この達成に向けて、事業基盤のスケールアップと強化が重要となることから、各グループ会社の業容拡大やグループ会社の連携強化などに取り組むとともに、規模の拡大を揺るぎないものとする業務管理の整備に努めております。また、第5の柱として定めた「ヘルスケアサービス事業」につきましても、新たな成長ドライバーとしてその展開を加速させております。

現在、当社グループを取り巻く環境は、医療機関の機能分化と地域連携の強化、在宅医療・介護の推進など政府が掲げる「地域医療構想」のもと大きな転換点を迎えております。一方、競争環境においては、診療・介護報酬の見直しや、消費税増税の影響などにより、多くの医療機関で支出を抑える傾向が強まり、厳しい状況が続いております。転換点として生まれてくる新しい“旬”な市場、新興国の経済成長により拡大する海外市場、チャンスは広がっておりますが、それらを摘み取るにはサービス品質、コストなどにおいてより一層の競争優位の確立が重要な状況となっております。

こうした中、当社グループは人材育成や業務管理を徹底し、チャンスを摘み取るための基盤整備に精力的に取り組んでおります。また、“旬”な市場である地域医療において構想力、企画力、プロデュース力などに磨きをかけると同時に、海外案件への実績を積み、次のステージへ歩みを進めてまいります。当社グループは今後も機動的な投資が行える財務基盤を確保し、積極的なM&A、そしてグループガバナンスの強化をもとにSHIPの理念を共有し、長期目標の達成に邁進してまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

● グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

● 基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

● 2015年Key Word

みんな仲良く！！

日本発のグローバル企業へ

業績について

堅調に推移

当第2四半期の状況としましては、トータルバックプロデュース事業(TPP)においてプロジェクト案件の新規受注が拡大いたしました。また、期初予想に対して一部前倒しで計上されるとともに、メディカルサプライ事業(MSP)においても、昨年度M&Aを実施した会社業績の寄与及び新規SPD施設での受注が順調に推移したことなどにより、売上高は計画値比10.5%増(前年同期比6.7%増)の1,337億円となりました。利益面につきましては、営業利益、経常利益、四半期純利益とも計画値を大きく上回ったものの、医療機関の支出抑制などにより、前年同期実績を下回りました。

このような状況のもと、通期目標の達成に向けて、一層の営業努力を行ってまいります。

● 業績結果 (単位：百万円)

	期初予想 (2015年5月8日発表)	2015/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	121,000	133,720	10.5%
営業利益	4,000	4,907	22.7%
経常利益	4,100	5,321	29.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,700	2,710	59.4%

グループ経営基盤の強化

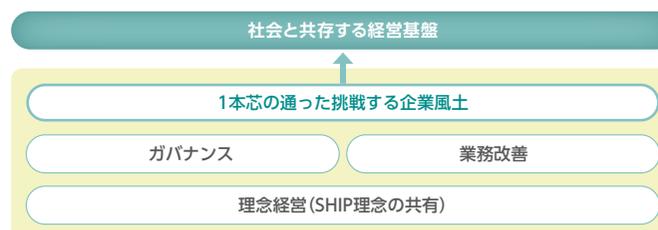
社会的企業グループとしての整備

市場が大きな転換点を迎える中、当社グループは、既存市場の取り込み、新しい市場への進出をグループを挙げて行っております。

例えば、地域医療連携の実現についてノウハウを共有し、グループ全体での対応を可能にするとともに、業務管理体制を確立することで業務の平準化を実施しており、このような改善を日々継続して行っていくことで、事業基盤の強化を図ってまいります。

また、人材教育面におきましては理念経営をさらに推進し、SHIPの理念を全社員が共有するように教育を徹底するとともに、それを支えるグループガバナンスを強化してまいります。当社グループは、多くの方々のご支援により、ヘルスケア業界において確固たる地位を築いてまいりました。安心して安全にご利用いただける施設・機器・サービスの提供は社会的な責務と考えます。この責務を果たしていくためにグループの経営基盤をさらに強化してまいります。

● 経営基盤のフレーム



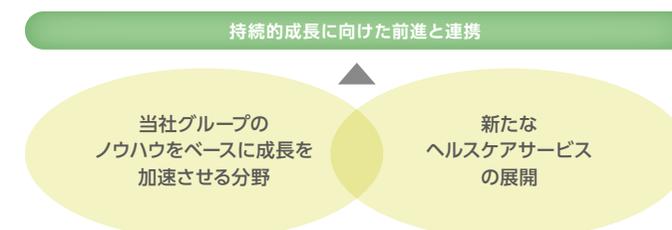
次なるステージへ

ヘルスケアサービスの更なる展開

当社グループは、創業以来「生命を守る人の環境づくり」のグループミッションのもと、多くの実績とノウハウを蓄積すると同時に、ヘルスケア業界において確固たる地位を固めてまいりました。また、大きく変化する市場環境の中においても、常に業界における“旬”のニーズを先取りした事業展開を図ることで、着実に成長してまいりました。そして現在、多くの地域医療プロジェクトで得たノウハウが有機的に結び付く形で、最先端技術が必要となる重粒子線がん治療施設や、ミャンマー・バングラデシュなどの海外を中心としたヘルスケアサービス分野での事業展開が着実に進行しております。

当社グループでは、今後の継続したさらなる発展のため、既存事業の成長と新たなビジネス双方の基盤をしっかりと作り上げ、ヘルスケア業界のリーディングカンパニーとして1兆円企業を目指してまいりたいと考えております。

● 成長のフレーム



重粒子線がん治療施設プロジェクトの進捗

施設新設工事の安全祈願祭を行いました

2015年8月8日に、「ヘルスケアサービス事業」の一環として進めております、重粒子線がん治療施設の新設工事安全祈願祭を執り行いました。今後は、3年後を目途に開業に向けて工事が進行してまいります。

大阪府立成人病センターの建て替えに伴う本施設の新設プロジェクトは、当社グループの医療施設に関するノウハウの粋を集めた事業となっており、全国でも6番目の施設となります。鉄筋コンクリート3階建て(延べ床面積は8,800㎡)を予定する建物・設備の保有管理については、大阪重粒子線施設管理(株)を設立するとともに、日立製作所製の最新鋭の照射装置を設置し、最先端のがん治療施設を通じ、社会に貢献してまいります。

日本の医療環境は、機能分化や高度化が進むなど、制度的に大きな転換点を迎えております。当社グループでは、これらの機

● 安全祈願祭の様子



運を逃すことなくしっかり取り込んでゆくことで、更なる成長を目指してまいります。

重粒子線がん治療とは

最先端の技術による「放射線治療」の一種で、体外からの部位照射で済ませる「切らない」治療法です。

● メリット

- 1 痛みを伴わない
- 2 ご年配の方にも適用できる
- 3 早期なら根治可能
- 4 X線では治療困難な、深部がんにも適用できる
- 5 社会復帰までの期間が短い

出典：重粒子線治療ガイドHPより

● 重粒子線がん治療施設パース



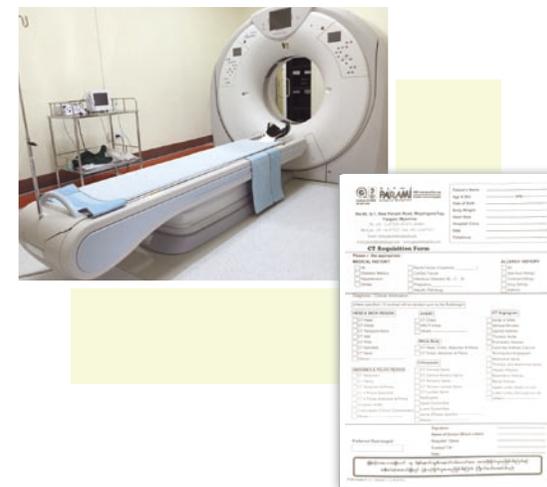
海外事業の進捗

ミャンマーでCT画像センターをオープン

当社グループでは、ASEAN地域を中心に海外展開の基盤づくりを進めております。昨年現地法人を設立後、透析センターの運営を開始したミャンマーでは、この9月にCT画像センターをオープンいたしました。消耗品や、CTを撮影する際に使用する造影剤は安全性を優先して採用するなど、日本式の高度で信頼性の高い医療環境を整えるためのベースが出来上がってきており、今後も施設を運営するための人材教育や病院機能整備を進めてまいります。

また、同事業は本年7月に経済産業省が進める「医療拠点化促進実証調査事業」(医療サービスなどを積極的に海外展開する医療機関・民間事業者への支援事業)として採択されており、今後これまで以上に官・民一体となった力強い展開を図ってまいります。

● CT画像センターの様子と管理表



全国紙に新聞広告を掲載

テーマは、「日本の地域医療を、もっと強く。」

当社グループでは、2015年11月11日付の全国紙にTPP事業の例として、一般財団法人津山慈風会 津山中央病院様に関する新聞広告を掲載いたしました。「日本の地域医療を、もっと強く。」をテーマにした広告は、当社グループのイメージ戦略としてシリーズ展開しており、非常に多くの反響をいただいております。

今回取り上げた津山中央病院様は岡山県北部に位置し、「地域の皆さんにやさしく寄り添います」を理念として1954年に救命を願う地元開業医の方たちが立ち上げた歴史のある病院です。その後の移転・新築により様々な機能を備えるとともに、地域に急性期医療を提供する中核的な病院となりました。

今後、政府が掲げる「地域医療構想」のもと、都道府県単位で構想の策定・具体化が本格的に進行してまいります。当社グループは、SHIPの理念、そして至誠惻怛の精神のもと、医療環境のトータルプロデュースで地域医療の発展に貢献してまいります。

● 2015年11月11日付 新聞広告



各種IR・PR活動

経営トップによる積極的な活動を実施

2015年4月27日に、BSジャパンにて代表取締役会長の古川をゲストとするテレビ番組が放送されました。番組では、地域医療の再生に向けて現場の課題を掘り下げるとともに、当社グループにおける患者目線の医療の在り方についてお伝えすることが出来ました。

また、当社グループでは、個人投資家の皆さま向けに積極的なIR活動を実施しております。上期におきましては、2015年8月28日から29日の2日間にかけて、「日経IR・投資フェア2015」に出展いたしました。会場へのご来場者は2日間で約1万6千人にのぼり、代表取締役社長の小川による会社説明会では、多くの個人投資家の皆さまにお越しいただき、活発なコミュニケーションを図ることが出来ました。

当社グループでは、今後も経営トップによる積極的なIR・PR活動を通じて、個人投資家層の新規開拓とグループ理念の浸透に努めてまいります。

● 日経IR・投資フェアにおける当社ブースの様子



アンケートへのご協力ありがとうございました。

第23期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、807名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2015年9月30日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

● 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



● 当社経営に関して、何を重視すべきと思われるですか？



● その他様々なご意見の一部

- 海外での事業が進んでいくことを期待します。
- ガンバ大阪のサポート企業なので株を買いました。
- 第5の柱、一層の充実を願っています。
- 株主優待が新設されるといいなと思います。
- 「至誠惻怛」の精神に、大いに共感しています。
- 中期経営計画の策定を是非ともお願いします。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

● 連結貸借対照表

	当第2四半期 2015年9月30日現在	前第2四半期 2014年9月30日現在	前 期 2015年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	116,645	103,887	136,051
現金及び預金	35,678	19,374	38,676
受取手形及び売掛金	53,873	59,460	72,636
商品及び製品	8,839	8,555	8,292
仕掛品	2,704	2,075	1,902
その他	15,621	14,553	14,646
貸倒引当金	△ 73	△ 133	△ 101
固定資産	69,454	64,046	66,430
有形固定資産	39,131	37,255	38,135
建物及び構築物(純額)	13,161	13,640	13,518
土地	8,587	8,466	8,595
賃貸不動産(純額)	12,572	12,445	12,706
その他(純額)	4,809	2,702	3,315
無形固定資産	12,971	10,861	11,223
投資その他の資産	17,351	15,929	17,071
繰延資産	64	—	80
株式交付費	64	—	80
資産合計	186,164	167,934	202,562

(単位：百万円)

	当第2四半期 2015年9月30日現在	前第2四半期 2014年9月30日現在	前 期 2015年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	74,889	78,516	89,160
支払手形及び買掛金	52,418	58,188	66,707
短期借入金	1,665	890	1,590
未払法人税等	1,931	2,461	3,316
賞与引当金	1,538	1,498	1,464
その他	17,336	15,478	16,080
固定負債	35,774	40,084	37,538
社債	2,055	2,383	2,060
長期借入金	27,761	32,389	29,569
退職給付に係る負債	1,940	1,845	1,914
その他	4,017	3,467	3,993
負債合計	110,663	118,601	126,698
【純資産の部】			
株主資本	73,691	47,688	73,727
資本金	15,553	5,855	15,553
資本剰余金	20,356	10,224	20,385
利益剰余金	38,229	33,957	38,236
自己株式	△ 447	△ 2,349	△ 447
その他の包括利益累計額	1,342	1,141	1,580
非支配株主持分	466	502	555
純資産合計	75,500	49,332	75,864
負債純資産合計	186,164	167,934	202,562

● 連結損益計算書

	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前 期 2014年4月1日～ 2015年3月31日
売上高	133,720	125,356	273,327
売上原価	117,824	109,075	238,205
売上総利益	15,896	16,280	35,121
販売費及び一般管理費	10,988	10,499	21,523
営業利益	4,907	5,781	13,597
営業外収益	642	692	1,169
営業外費用	228	240	855
経常利益	5,321	6,232	13,910
特別利益	4	63	63
特別損失	377	304	253
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,949	5,992	13,720
法人税等合計	2,184	2,755	6,158
四半期(当期)純利益	2,765	3,236	7,562
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	54	43	89
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,710	3,193	7,472

(単位：百万円)

● 連結キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前第2四半期 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前 期 2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	6,839	△ 2,745	1,682
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,313	△ 5,002	△ 6,995
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,319	4,650	21,817
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 2	15	17
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 2,795	△ 3,081	16,522
現金及び現金同等物の 期首残高	37,755	21,233	21,233
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	34,959	18,151	37,755

(単位：百万円)

○ 主な経営指標の推移 [日本基準] (連結)

(単位: 百万円)

	2013/3	2014/3	2014/9	2015/3	2015/9 当第2四半期	2016/3 (通期予想)
売上高	224,363	259,189	125,356	273,327	133,720	300,000
営業利益	12,544	13,857	5,781	13,597	4,907	14,800
経常利益	13,589	14,754	6,232	13,910	5,321	15,100
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益	8,589	8,523	3,193	7,472	2,710	8,300
総資産	144,389	173,393	167,934	202,562	186,164	—
純資産	42,547	47,621	49,332	75,864	75,500	—

○ セグメント情報 (2015年4月1日~2015年9月30日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、介護系施設等の新規開業が建築費の高騰等により減少傾向にあることから、一部メーカー製品の受注・販売が低迷いたしました。一方で、プロジェクト案件につきましては概ね計画通り進捗し、一部前倒しの計上となるとともに新規受注も拡大いたしました。また、重粒子線がん治療施設を管理運営する子会社を新たに設立し、当該施設の建築工事が8月に着工いたしました。

この結果、売上高は39,496百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益は2,964百万円(前年同期比24.9%減)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、昨

年M&Aを実施した循環器系を中心とした会社の業績が寄与したこと、新規のSPD業務受託施設が増えたこと等から増収となりました。

この結果、売上高は71,689百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は938百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居者数及び利用者数が継続して積み上がりましたが、計画達成までには至りませんでした。また介護報酬の大幅なマイナス改定が大きく影響いたしました。

この結果、売上高は10,000百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は61百万円(前年同期比56.2%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の開設及び在宅対応の強化を進めるとともに、経営資源の効率的配分等により好調に推移いたしました。

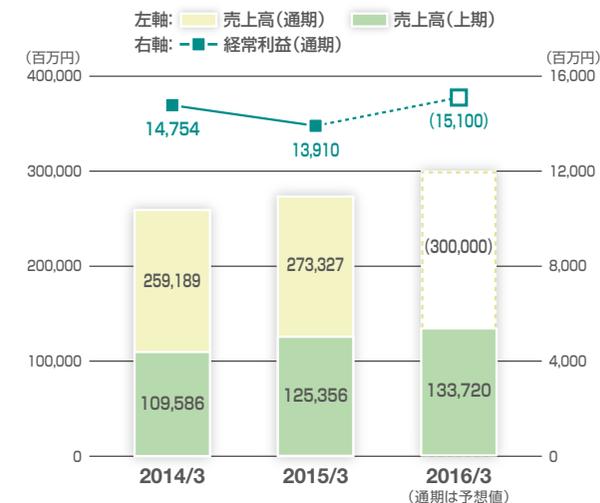
この結果、売上高は11,743百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は1,092百万円(前年同期比30.9%増)となりました。

その他

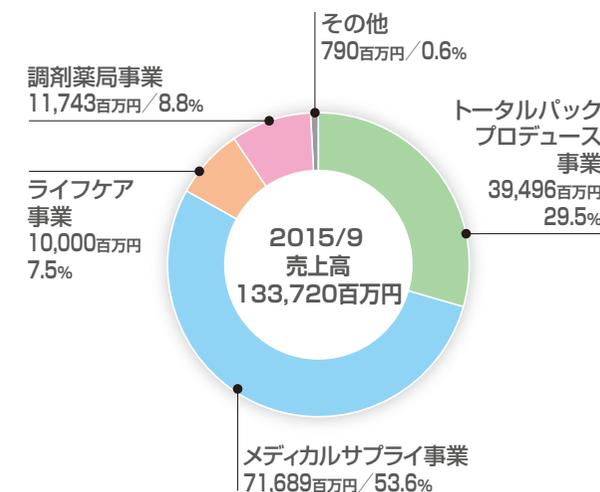
その他におきましては、動物病院事業は計画を若干下回り推移した一方、理化学機器の販売については計画通り推移いたしました。

この結果、売上高は790百万円(前年同期比82.2%増)、営業利益は62百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

業績トレンド



セグメント別売上高構成比 (2015/9)



会社情報

(2015年9月30日現在)

● 会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役会長 (CEO) 古川 國久
 代表取締役社長 (COO) 小川 宏隆
 資本金 155億5,301万円
 決算月 3月
 従業員数 連結3,973名(正社員) 8,189名(従業員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130
 FAX : 06-6369-3191

● 役員

代表取締役会長 (CEO)	古川 國久
代表取締役社長 (COO)	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 太一
専務取締役	沖本 浩一
専務取締役	増田 順行
専務取締役	横山 宏裕
常務取締役	小川 賢治
取締役	山本 博
取締役 (社外)	和田 義昭
常勤監査役 (社外)	岩元 廣志
社外監査役	中山 博康
社外監査役	大内 陽一朗

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>



株式関連情報

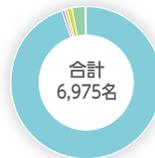
(2015年9月30日現在)

● 株式の状況

発行可能株式総数.....64,000千株
 発行済株式総数.....49,640千株
 株主数.....6,975名

● 株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



個人・その他	6,620名	94.91%
金融機関	42名	0.60%
金融商品取引業者	32名	0.46%
その他法人	78名	1.12%
外国法人等	202名	2.90%
自己名義株	1名	0.01%

株式分布状況 (株式数別)



個人・その他	10,747千株	21.65%
金融機関	12,132千株	24.44%
金融商品取引業者	347千株	0.70%
その他法人	6,353千株	12.80%
外国法人等	19,824千株	39.94%
自己名義株	235千株	0.47%

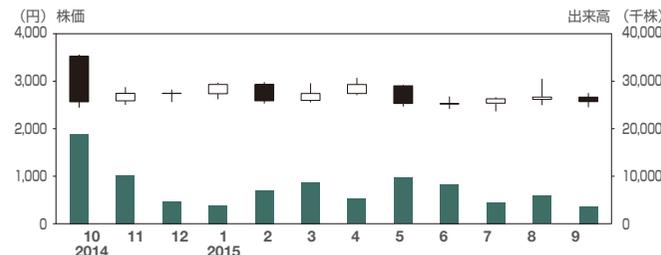
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

● 大株主の状況

	[持株数]	[持株比率]
株式会社コッコー	3,988千株	8.07%
CBNY-ORBIS SICAV	3,974千株	8.04%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,155千株	4.36%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,109千株	4.25%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,903千株	3.83%
春日興産合同会社	1,400千株	2.82%
THE CHASE MANHATTAN BNAK 385036	1,249千株	2.51%
古川 國久	1,236千株	2.49%
古川 幸一郎	1,230千株	2.47%
全国共済農業協同組合連合会	1,046千株	2.10%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

● 株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

定時株主総会 毎年6月中

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
2015年10月1日をもって特別口座の口座管理機関を
変更しております。なお、株主名簿管理人については
変更ございません。

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.

Please check

[http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings\(3360\)](http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings(3360))
to view the report.